

●本文中のマークについて



不都合が生じる恐れのある注意事項が書かれています。



基本操作に加えて知っておきたい事項が書かれています。

この度は、タムロンレンズをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

本取扱説明書は**モデル名A001**ニコン、キヤノン、ソニー、ペンタックスマウント用となっております。

ご使用になるレンズのモデル名とマウント名をご確認になり、該当する項目を特に注意してお読みください。

また、このレンズを取りつけてご使用になるカメラの取扱説明書も、併せてお読みください。お読みになった後は本取扱説明書を大切に保管してください。

なお、本レンズをお使い頂く上での安全上の注意は、同梱されております用紙「タムロンレンズ安全上のご注意」に詳しく記載されておりますので、そちらも必ずお読みください。

仕様

モデル名	A001
焦点距離	70-200mm
明るさ	F/2.8
画角(対角)	34°21'—12°21'
レンズ構成	13群18枚
最短撮影距離	0.95m(ズーム全域)
最大撮影倍率	1:3.1(200mm時:最短撮影距離0.95m)
フィルター径	φ77mm
全長	194.3mm*
最大径	φ89.5mm
質量(三脚座除く)	1150g*
質量(三脚座)	175g
レンズフード	HA001

*の数値は1/10mmの寸法です。

カメラへの取り付け・取り外し

1. レンズの後キャップを外します。
2. レンズ取付指標⑯とカメラ側のマウント指標を合わせてはめ込みます。
3. キヤノン、ソニー、ペンタックスの場合はレンズを時計回りに、ニコンの場合は反時計回りにカチリとロックがかかるまで回します。
4. 取り外すときは、カメラ側のレンズ取り外しボタンを押しながら、キヤノン、ソニー、ペンタックスの場合はレンズを反時計回りに、ニコンの場合は時計回りに回して取り外します。

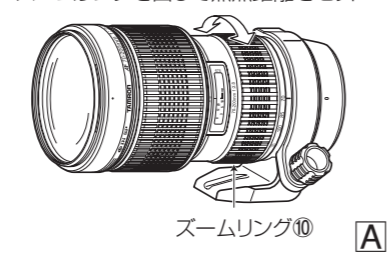
●詳しくはご使用カメラの取扱説明書を併せてご覧ください。

ズームリング

ファインダーをのぞきながらズームリング⑩を回し、作画イメージに合う焦点距離にセットして撮影します。(図A)

数値の単位はミリです。数値が小さいほど広角になり、大きいほど望遠になります。

ズームリングを回して焦点距離をセット



被写界深度の確認

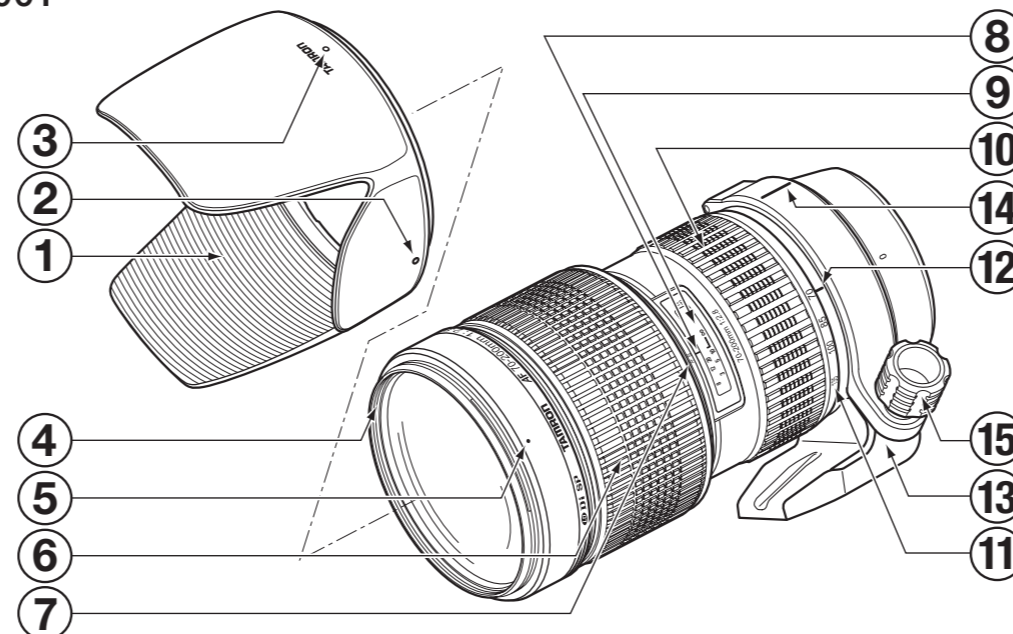
絞込プレビュー機構のついたカメラでは、被写界深度はファインダーで直接確かめることができます。ご使用カメラの取扱説明書をご覧ください。

●被写界深度表が必要な方は、弊社営業所までお問い合わせください。
●被写界深度表は、インターネットのタムロンホームページ(サポート情報)からダウンロードしていただくこともできます。ホームページアドレス: <http://www.tamron.co.jp/data/depth/index.htm>

絞りについて

撮影モードにしたがって、絞りはカメラ側で設定します。

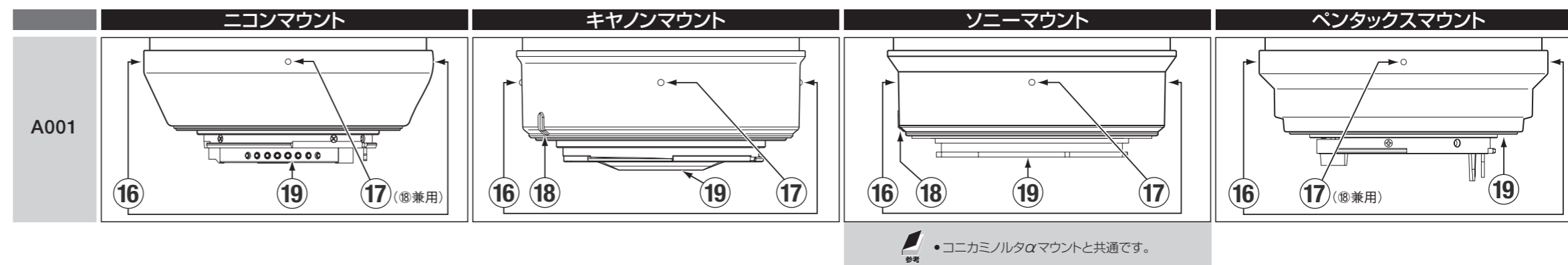
モデル A001



●各部の名称

①	フード
②	フード取付指標
③	フード固定指標
④	フィルター取付リング
⑤	フード着脱指標
⑥	フォーカスリング(AF・MF切替機構)
⑦	AF・MF切替指標
⑧	距離指標
⑨	距離目盛
⑩	ズームリング
⑪	焦点距離目盛
⑫	焦点距離指標
⑬	三脚座
⑭	三脚座指標
⑮	三脚座固定ネジ
⑯	三脚座 縦位置指標
⑰	三脚座 横位置指標
⑱	レンズ取付指標
⑲	信号接点

●マウント部



●コニカミノルタαマウントと共通です。

ピント合わせAF(オートフォーカス)

●ニコン、キヤノンのカメラをお使いの場合

1. フォーカスリング(AF・MF切替機構)⑥を前に押し出しAFに切り替えます。(図B)
2. ファインダーをのぞきながらシャッターボタンを半押しします。
3. ファインダー内にピントの合ったことを知らせるマークが点灯します。

●フォーカスモードセレクトダイヤルが付いているニコンのカメラをお使いの場合は、フォーカスモードをSまたはCにセットしてからレンズ側のAF・MF切替機構⑥をAFモードに切り替えてください。

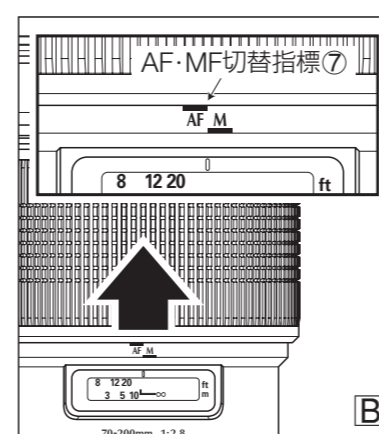
●ソニー、ペンタックスのカメラをお使いの場合

1. カメラをAFモードにセットします。
2. フォーカスリング(AF・MF切替機構)⑥を前に押し出しAFに切り替えます。(図B)
3. ファインダーをのぞきながらシャッターボタンを半押しします。
4. ファインダー内にピントの合ったことを知らせるマークが点灯します。

●AFモードに設定されている時に、フォーカスリング⑥を無理に手でまわすとレンズ内部の機構を破損する恐れがあります。

●距離目盛は、ある程度の目安として表記していますので、実際のピント位置と異なる場合があります。

●詳しくはご使用カメラの取扱説明書を併せてご覧ください。



ピント合わせMF(マニュアルフォーカス)

●ニコン、キヤノンのカメラをお使いの場合

1. フォーカスリング(AF・MF切替機構)⑥を手前に引き、MFに切り替えます。(図C)
2. ファインダーをのぞきながらフォーカスリング⑥を手で回してピントを合わせます。(図D)

●フォーカスモードセレクトダイヤルが付いているニコンのカメラをお使いの場合は、フォーカスモードをMにセットしてからレンズ側のAF・MF切替機構⑥をMFモードに切り替えてください。

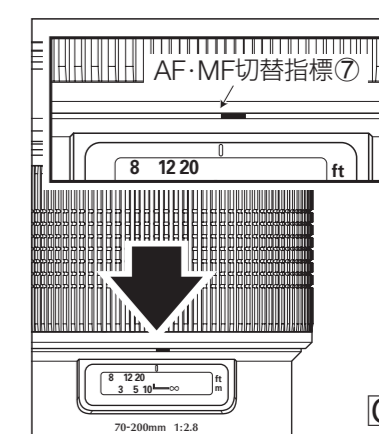
●ソニー、ペンタックスのカメラをお使いの場合

1. カメラをMFモードにセットします。
2. フォーカスリング(AF・MF切替機構)⑥を手前に引き、MFに切り替えます。(図C)
3. ファインダーをのぞきながらフォーカスリング⑥を手で回してピントを合わせます。(図D)

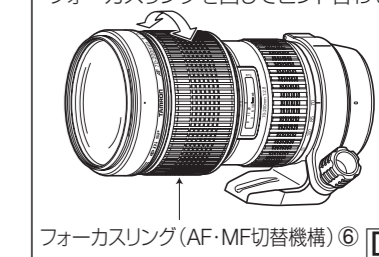
●カメラのフォーカスアシスト機能により、MFモードに設定されていてもシャッターボタンを半押ししながらフォーカスリング⑥を回すと、ピントが合ったとき、ファインダー内の合焦ランプが点灯する場合があります。

●さまざまな条件下で良好なピントを確保できるよう、フォーカスリング⑥は無限遠(∞)位置よりも余分に回転します。したがって、マニュアルフォーカス撮影では、無限遠にピントを合わせる場合も、必ずファインダーでピントを確認してから撮影してください。

●詳しくはご使用カメラの取扱説明書を併せてご覧ください。



フォーカスリングを回してピント合わせ



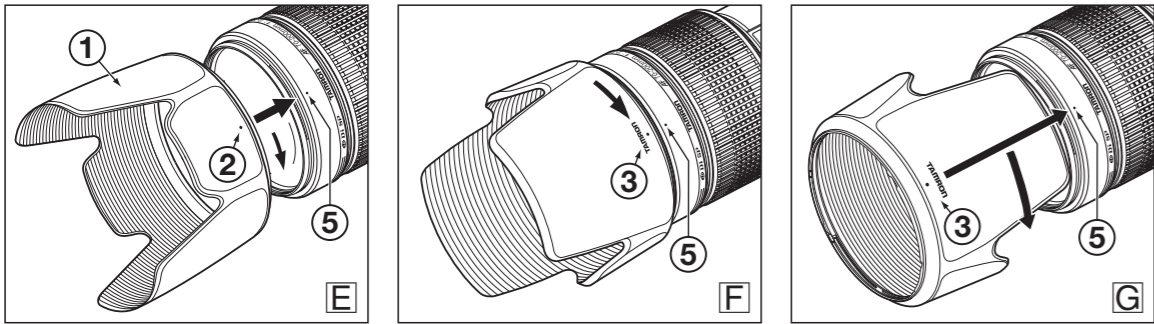
レンズフードについて

バヨネット式レンズフードが標準装備されています。描写に悪影響を及ぼす画角外の余分な光線をカットするため、正しく装着して撮影されることをお勧めいたします。

ただし、ご使用のカメラがストロボ内蔵の場合は「撮影時のご注意」をよくお読みください。

●取り付け	●収納時の取り付け
<ol style="list-style-type: none">フード側のフード取付指標②とレンズ側のフード着脱指標⑤が合致する位置でフードをまっすくにかぶせます。(図E) フード固定指標③「TAMRON」がレンズ側のフード着脱指標⑤に合致するまでフードを時計回りに回転させると(約90度)カチリと音がしてフードが固定されます。(図F)	<p>レンズフードを逆向きに取り付け、収納することができます。</p> <ol style="list-style-type: none">フードの開いている側をレンズに向け、フード固定指標③「TAMRON」をレンズ側のフード着脱指標⑤に合わせはめ込みます。(図G) フード側のフード取付指標②が真上に来るまでフードを回して、固定します。(図G)
●取り外し	●収納時の取り外し
<ol style="list-style-type: none">フード①を反時計回りに回転させます。フード①がレンズから外れます。	<ol style="list-style-type: none">フード①を反時計回りに回転させます。フード①がレンズから外れます。

- 注意**
 - フードが正しく取り付けられていないと、撮影画面にケラレが生じますのでご注意ください。



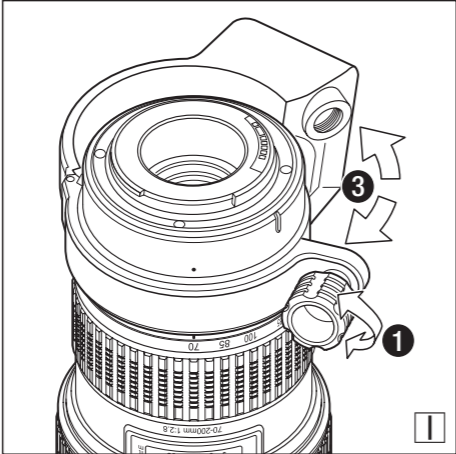
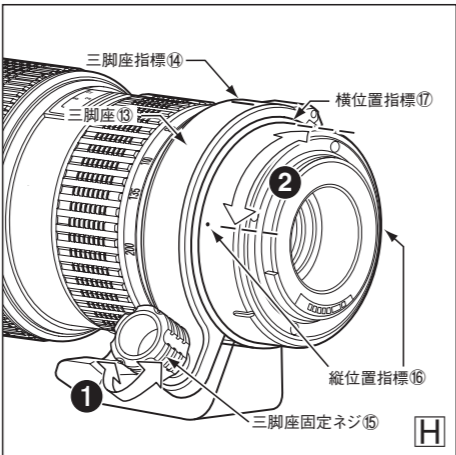
三脚座

A001には三脚座が装備されています。三脚を使用する際は、三脚座でレンズを三脚にしっかりと固定してください。

●カメラの縦横の位置を変える	
<ol style="list-style-type: none">三脚座固定ネジ⑮を反時計回りに回してゆるめます。(図H 操作①) 三脚座指標⑭と三脚座縦位置指標⑯又は三脚座横位置指標⑰に合わせます。(図H 操作②) 三脚座固定ネジ⑮を時計回りに回してしっかり固定します。(図H 操作①)	
●三脚座を取り外す	
<ol style="list-style-type: none">三脚座固定ネジ⑮を反時計回りに回します。(図I 操作①) 三脚座⑱が開き、三脚座がレンズから外れます。(図I 操作②)	
●三脚座を取り付ける	

- 三脚座⑱を開き、レンズにセットします。(図I 操作②)
- 三脚座⑱を閉じ、三脚座固定ネジ⑮を時計回りに回してしっかり固定します。(図I 操作①)

- 注意**
 - 三脚にレンズを取り付けたまま場所を移動する際には充分にご注意下さい。
 - 三脚座の取付・取外しの際にはカメラとレンズを落とさないように注意してください。



Diレンズはデジタル一眼レフカメラの諸特性に配慮した光学設計を行っておりますが、デジタル一眼レフカメラとの組合せにおいて、AF撮影時、撮影条件により、レンズ側のAF合焦精度が仕様内でも、ピント位置がわずかに前あるいは後になる場合がございます。


撮影時のご注意
<ul style="list-style-type: none">最短撮影距離を実現するために、インターナルフォーカス方式を採用しています。このため、無限遠に満たない撮影距離で撮影した場合、他のフォーカス方式を採用しているレンズに比較して、撮影範囲が広くなります。 カメラの内蔵ストロボを使ってフラッシュ撮影される場合は、フードやレンズ本体によるケラレが出るので、フードは必ず外してください。ワイド側や近距離での撮影では、レンズ本体がストロボ光を遮って、レンズフードを使わなくても画面下部に半円形のケラレが出る場合があります。フラッシュ撮影では、外部着脱式の専用ストロボのご使用をおすすめします。ご使用のカメラの取扱説明書「内蔵ストロボ」に関する項を併せてご覧ください。 レンズの光学性能上、テレコンバーターのご使用はお勧めしません。 望遠側の撮影では、手ぶれに特にご注意ください。手ぶれを防ぐためには、デジタルカメラではISO感度を高感度に設定、フィルムカメラではISO感度の高いフィルムを使用することで、できるだけ早いシャッター速度で撮影すると効果的です。三脚または一脚の使用もぶれ防止に有効です。手持ちで撮影をするときには、足を少し広げてまっすく立ち、両手でカメラを持ち、両脇を締め、カメラをしっかりと顔につけて安定させます。壁、柱、テーブルなどがある場所では、それらを支えにして安定させると効果的です。特に手持ちでシャッターを切るときには、息を止めるようにして、指の腹で静かにシャッターボタンを押してください。 AF撮影時には、フォーカスリングの動きを妨げないでください。無理に手で回したり押さえたりすると、故障の原因になります。 カメラの表示システムの違いにより、開放F値、及び最小F値が仕様と異なった値で表示される場合がありますが、異常ではありません。また、長い焦点距離側で表示される最小絞り値が異なる場合がありますが、異常ではありません。 本レンズには赤外指標を表示しておりません。赤外用赤フィルターを使う赤外フィルムを使った撮影はできませんのでご注意ください。

長くご使用いただくために

- レンズ面についたゴミや汚れは、ブローアで吹き飛ばさずか柔らかいハケで取り除いてください。レンズ面は指で触れないようにしてください。
- レンズ面に指紋や油がついたときは、市販のレンズクリーニングペーパー、よく洗った水綿の布やマイクロファイバークロス（眼鏡などの専用清掃布）に、レンズクリーナーをしみこませて、レンズ面の中心部から軽く拭き取ってください。シリコンクロスは使わないでください。
- 鏡胴部は、シリコンクロスで清掃してください。ベンジンやシンナーなどの有機溶剤は絶対に使わないでください。
- カビはレンズの大敵です。レンズ面に指紋をつけたときや、高温多湿の海や山での撮影後には必ずレンズを清掃してください。また、ボディから取り外したレンズは、ホコリやキズがつくのを防ぐため、専用キャップを前後に付けてケース等に入れてください。風通しがよく、ゴミやホコリの少ない場所に保管してください。ケースに入れて保管する場合は、市販の乾燥剤を入れ、時々交換してください。
- レンズの信号接点には、指を触れないようにしてください。ホコリや汚れなどによって接触不良になると、レンズとカメラ間の信号の伝達が正しく行われなくなり、誤作動の原因になります。
- 温度が急激に変化すると、カメラ及びレンズ内部に水滴が生じ、故障の原因となります。ビニール袋などで密封し、周囲の温度になじませてから取り出してご使用ください。

製品保証およびアフターサービス

- ご購入日より1年間の保証期間経過後の修理は有料となります。なお、運賃諸掛はお客様にてご負担願います。
- 本製品の修理用性能部品は生産終了後7年を目安に保有しています。したがって期間中は原則として修理をお受けいたします。また、期間後であっても修理可能な場合がありますので、お買い求めのカメラ店、又は弊社お客様相談窓口までご相談ください。
- 日本国外で故障した場合は、お客様相談窓口までご相談ください。緊急の場合は下記の弊社海外現地法人までご相談ください。但し、日本国内で発行された保証書は海外では無効ですのでご注意ください。
- 修理品をご送付の場合は、書面にて修理依頼個所を明確にご指示のうえ、十分に梱包してお送りください。

 タムロンレンズ お客様相談窓口 ナビダイヤル
0570-03-7070 ※一般電話・公衆電話から市内電話料金にてご利用いただけます。

受付時間：平日9:00～17:00（土日・祝日・弊社指定休業日は除く）
ナビダイヤルをご利用できない場合は**048-684-9889**におかけください。FAXでのお問い合わせは**048-689-0538**に送信ください。
東京修理受付窓口：〒110-0005 東京都台東区上野6丁目16番22号 上野TGBビル3階 TEL 03-5817-7210 FAX 03-3837-1790

タムロン海外現地法人		
TAMRON USA INC.	: 10 Austin Boulevard, Commack, NY 11725 USA	Tel. +1-631-858-8400
TAMRON France EURL	: 5, avenue Georges Bataille, F-60330 Le Plessis-Belleville Boite postale 31, FRANCE	Tel. +33-3-44-60-73-00
TAMRON Europe GmbH	: Robert Bosch-Str. 9, 50769 Cologne, GERMANY	Tel. +49-221-970325-0
TAMRON INDUSTRIES (HONG KONG) LTD.	: Unit 908, 9/F, Elite Centre, 22 Hung To Road, Kwun Tong, Kowloon, Hong Kong	Tel. +852-2721-7797
TAMRON OPTICAL (SHANGHAI) CO.,LTD.:	Room 1707, Ruijin Building, No.205, Maoming South Road, Shanghai, 200020, CHINA	Tel. +86-21-5102-8880
TAMRON (Russia) LLC.	: nikon Business Center 5F No.9, Plekhanova Street 4a, Moscow, 111123, Russian Federation	Tel. +7-495-970-0112
TAMRON INDIA PRIVATE LIMITED:	801, 8th Floor, Time Tower, M.G Road, Sector-28, Gurgaon-122002, Haryana, India	Tel. +91-124-41-168-12
海外営業部	: 〒337-8556 埼玉県さいたま市見沼区蓮沼1385番地	Tel. (048) 684-9339